

どキュま!

山形国際ドキュメンタリー映画祭
情報マガジン



▶「ムン・ストロ」12への金曜上映会

Dec
2022
121
Jan.
2023

金曜上映会
ほか

www.yidff.jp

やまがた秋の芸術祭 / YIDFF 2023 プレ・イベント
山形国際ドキュメンタリー映画祭2021 リバイバル上映
YIDFF 2021 ON SCREEN! 2022年10月7日[金]ー10日[月・祝]



ご来場ありがとうございました。

次の秋には、映画祭でお会いしましょう。

山形国際ドキュメンタリー映画祭2023
YAMAGATA International Documentary Film Festival 2023
2023年10月5日[木]～12日[木]

山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー 金曜上映会

鑑賞会員無料(当日受付にてご入会ください)
会費・入会金・会費不要(裏面の本法人「正会員・賛助会員」制度とは別です)。
会場:山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー
山形市平久保100 山形国際交流プラザ(ビッグウイング)3F 試写室
主催:認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭

12.9
金Fri

〈ウクライナ、トランスニストリア〉

▶14:00, 19:00 (2回上映)

アポロノフカ棧橋

YIDFF 2009 インターナショナル・コンペティション
監督:アンドレイ・シュヴァルツ/ドイツ/2008/85分



▶16:00 (1回上映)

トランスニストリア

YIDFF 2019 インターナショナル・コンペティション
監督:アンナ・イボーン
スウェーデン、デンマーク、ベルギー/2019/96分

巨大な軍艦が停泊する、ウクライナ、クリミア半島のセヴァストポリ湾の夏。緩い開放感と停滞感が同居する小さな港町の日常が積み重ねられ、刹那的に流れるひと夏を生きる人々の美しさに引き込まれる『アポロノフカ棧橋』。
ウクライナとモルドバの境界の小国トランスニストリアに暮らす、17歳のタニアと彼女をめぐる5人の男の子たち。恋と友情の危ういバランス、揺れ動く感情。出稼ごか、兵士になるか、さもなければ犯罪者になるしかない過酷な現実。つかの間の青春の光を16ミリカメラが記録する『トランスニストリア』。

1.13
金Fri

〈小川紳介監督を偲ぶ〉

▶14:00, 19:00 (2回上映)

圧殺の森

—高崎経済大学闘争の記録

監督:小川紳介/日本/1967/16mm/105分



高崎市立経済大学の学園闘争を記録して、60年代後半の全国的な学生叛乱の予兆に満ちた作品。大学の10年にわたる不正入学、市当局の学校運営への度重なる介入、露骨な弾圧。学生はこれに対し全学ストライキで立ち向かう。ついに学生ホールに立てこもった十数名の学生たち。小川やそのスタッフも、生活を共にしながら時間を共有していく。



小川紳介 おがわしんすけ
1936年、東京生まれ。岩波映画製作所を経て1964年、フリーになる。1968年、小川プロダクションを旗揚げし、「三里塚」シリーズを制作。1974年、上山市牧野に移り住み、米作りをしながら農村を見続け『ニッポン国古屋敷村』(1982)と『1000年刻みの日時計—牧野村物語』(1986)を発表。1989年のドキュメンタリー映画祭発足の準備委員として奔走、映画祭を成功に導いた。1992年2月7日逝去。

新型コロナウイルス感染症対策のため、ご協力をお願いいたします。
*施設から感染者が確認された場合に備え、受付でお名前、ご連絡先をご記入いただけます。この個人情報はこの目的以外には使用せず、30日間厳重に保管し、期間終了後は適切に廃棄します。

*手指消毒、マスクの着用、咳エチケットへのご協力をお願いします。
*発熱など体調不良のある方はご来場をお控えください。
*ご入場前、ご退出後に会場の消毒、換気を行います。
*状況により、やむを得ず上映会を中止する場合がございます。

作品募集中

【応募締切】

◆国際ショナル・コンペティション
第1次応募締切 2022年12月15日
第2次応募締切 2023年4月15日

◆アジア千波万波
2023年5月15日



www.yidff.jp/2023/entry

ドキュ山ユース @docu_777



山形国際ドキュメンタリー映画祭の
高校生チームです。いろいろな上
映会やイベントを企画してみよう。
メンバー募集中。

もうしこみ・といあわせ

これまでの活動 www.yidff-live.info/tag/docuyamayouth

ドキュメンタリー映画を自主上映しませんか？

当法人では、国内の非営利上映会（自主上映会）向けに山形国際ドキュメンタリー映画祭上映作品の一部の貸出を行い、製作支援として貸出料の半額を制作者に還元しています。

1989年から2021年までの国際ショナル・コンペティションやアジア千波万波などの上映作品、小川紳介監督作品（貸出は山形県内限定）など200作品以上が貸出可能です。

・貸出料金 30,000円（短編10,000円）／消費税込

www.yidff.jp/library/loans/loans.html

やまがた創造都市国際会議2022
「デザイン×映画～創造性の相乗効果～」
アーカイブ配信決定

創造都市拠点施設「やまがたクリエイティブシティセンター Q1」を会場に、デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）、ユネスコ映画創造都市ブラッドフォードと連携したシンポジウムを昨年10月に開催しました。

ディスカッションを通し、特別ゲストの篠原哲雄監督からは「映画を手段として人と人がつながり、文化が発展する。そういう起爆剤となるような施設が山形にできたこと、これは日本における起爆剤にもなりえと感じた。」とお話をいただきました。

アーカイブ配信は1月末よりユネスコ創造都市やまがた公式ホームページまたはYouTubeより配信予定です。ぜひご覧ください。

当日の様子▶



Yamagata City of Film
ユネスコ創造都市 やまがた

【お問い合わせ】山形市創造都市推進協議会 事務局
山形市旅籠町 2-3-25 山形市企画調整部文化振興課内
Eメール: creative-yamagata@city.yamagata-yamagata.lg.jp
電話: 023-641-1212 (内線 769)
www.creative-yamagata.jp



山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー

これまでに山形国際ドキュメンタリー映画祭に応募された20,000本以上の作品（プレビュー）、東日本大震災の記録映画とその作品資料を蒐集・保存を行うプロジェクト「311ドキュメンタリーフィルム・アーカイブ」に登録された作品を視聴することができます。

*映画館での公開が決まった作品など、視聴いただけない場合があります。

- 山形市平久保100 山形ビッグウイング3F
- 開館時間: 10:00-17:00
- 休館日: 月・火曜（祝日を除く）、年末年始
- 臨時休館はWebサイトでお知らせします。
- 電話: 023-635-3015



311ドキュメンタリーフィルムアーカイブ
www.yidff311docs.jp

2011年3月11日に起きた東日本大震災の記録映画とその作品資料を蒐集・保存し、作品情報を世界に発信するプロジェクトです。登録作品は、山形ドキュメンタリーフィルムライブラリーで視聴できます。

フィルムを
懐かしい捨てないで！
▼ご自宅に眠っているフィルムはありますか？ 何気なく撮影された個人や家族の記録のなかに、人々の記憶を蘇えらせ、新しい発見をもたらすような地域の宝物が見つかるかもしれません。映してみたいけれど映写機がない、何のフィルムか分からない、等ありましたら、ご相談ください。



023(666)4480
info@yidff.jp

認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭
をご支援ください

www.yidff.jp/support

映画祭や上映会、映像教育・支援活動、アーカイブ活動の継続、新しい事業へのチャレンジへのご支援をお願いいたします。

本法人へのご入会について

認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭を継続的に支援して下さる方のための会員制度です。詳細は上記URLの山形映画祭公式サイトをご覧ください。

ご寄付について

山形国際ドキュメンタリー映画祭は「認定NPO法人」です。認定NPO法人に寄せられた寄付金には、寄付金控除が講じられ、寄付を行なう側、受ける側、双方に有利になります。詳しくは最寄りの税務署にお問い合わせください。

山形国際ドキュメンタリー映画祭情報発信中

ブログ「ドキュ山ライブ」 www.yidff-live.info.....

@yidff_8989

@yidff

メールマガジン「YIDFF ニュース」(毎月1回配信)
www.yidff.jp/news/subscription

コミュニティFM ラジオモンスター 76.2MHz『モンブラン』内



次号発行は

2月1日

編集・発行: 認定NPO法人 山形国際ドキュメンタリー映画祭
〒990-0044 山形市木の実町9-52 木の実マンション201
電話: 023-666-4480 FAX: 023-625-4550
Eメール: info@yidff.jp ウェブサイト: www.yidff.jp